

海洋理工学会平成19年度春季大会プログラム

5月17日(木)

シンポジウム「CO₂海洋隔離技術の進展 —ケーススタディから見える有効性と課題—

コンビナー: 中田喜三郎(東海大学)、石田和憲((株)環境総合テクノス)

- 10:00-10:10 主旨説明 中田喜三郎(東海大学)
- 概要—**
- 10:10-10:30 S1. CO₂固定化・隔離技術における日本の方向性と国際的な取組状況 西尾匡弘(経済産業省)
- 10:30-10:50 S2. Moving Ship 方式によるCO₂隔離技術 村井重夫((財)地球環境産業技術研究機構)
- 生物影響—**
- 10:50-11:20 S3. CO₂海洋隔離による生物への影響 石松惇(長崎大学)
- 11:20-11:50 S4. ケーススタディにおける生物影響 渡辺雄二((株)環境総合テクノス)
- 11:50-12:20 S5. 深海現場実験によるCO₂の生物群集への影響 石田洋((株)環境総合テクノス)
- 希釈放出技術—**
- 13:30-14:00 S6. 単一海域における年間5000万トン海洋隔離ケーススタディ 尾崎雅彦((独)海洋研究開発機構)
- 14:00-14:30 S7. CO₂は海中でどのように溶解するのか 平井秀一郎(東京工業大学)
- 14:30-15:00 S8. 放出想定海域におけるCO₂の拡散 佐藤徹(東京大学)
- 15:00-15:30 S9. 隔離CO₂は西部北太平洋にどのように広がるか 増田良帆(北海道大学)
- 15:45-16:30 総合討論
- 17:00- イブニングセッション

5月18日(金)

一般講演

- 9:20-10:00 **生物環境影響** 座長 鋤崎俊二(日本海洋生物研究所)
- A1. ナトリウムピリチオン及び二酸化塩素を用いたバラスト水処理に関する研究
○亭島博彦・安井久二 ((株)日本海洋生物研究所)
- A2. シマアジの胚発生に及ぼす低酸素と高二酸化炭素の影響
○澤田好史(近大水研)・樋口和宏(近大院農)・芳賀穰(海洋大)・石橋泰典(近大農)
倉田道雄・宮武弘史・片山茂和(近大種苗センター)・瀬岡学(近大水研)
- 10:00-12:00 **機器開発** 座長 門馬大和(JAMSTEC)
- A3. 海水中の放射性核種を存在状態別に捕集するための現場型大容量海水濾過・濃縮装置システムの開発
○青野辰雄・日下部正志・中西貴宏・山田正俊(放医研)
金子将・中村哲也・堀克博(日油技研)
- A4. 海中大電力パルス放電の基礎研究 ○吉田弘(JAMSTEC)
- A5. 大深度対応ガラス製ビューポートの開発 ○伊藤和彰・田原淳一郎・大澤弘敬(JAMSTEC)
- A6. 潜水調査船「しんかい6500」による18年間の1000潜航
○松本恵太・○小椋徹也・櫻井利明・今井義司(日海事)

A7. 慣性航法における誤差軽減手法

○石橋正二郎・月岡哲・吉田弘・百留忠洋・澤隆雄(JAMSTEC)

A8. 2枚の位相板と斜面と曲面反射板からなる浮動式空気ポンプの研究－波浪エネルギーを利用するための新しい試み－

○堀込智之(宮城水産高専)

12:00-12:40 **総会・学会賞表彰**

13:20-13:40 **ポスターセッション**

P1. 東京湾における銅ピリチオンの生態リスク評価の研究

堀口文男(産総研)・伊東永徳・○江里口知己(SAT)・市川哲也(中電CTI)・中田喜三郎(東海大)

P2. 汽水域・沿岸域でのコンパクトサイドスキャンソナーの記録例

○西村清和・上嶋正人(産総研)・徳岡隆夫(島根大)・吹田歩・竹内倶佳(電気通信大)

P3. タイ国タリボン島におけるジュゴンの摂餌に関する研究

○天本奈々子・市川光太郎・荒井修亮(京大院情報)・赤松友成(水研セ水工研)
新家富雄(SIT)・原武史(日本水産資源保護協会)・Kanjana Adulyanukosol(PMBC)

P4. 電力消費起源の二酸化炭素(CO₂)排出量の地球規模での推定の試み(第1報)

○八木浩(ビジョンテック)・胡斯勒図(千葉大)・岡田周平・原政直(ビジョンテック)
西尾文彦(千葉大)

13:40-15:20 **リモートセンシング**

座長 原政直(ビジョンテック)

A9. 短波海洋レーダおよび沿岸潮位計で観測された宗谷暖流の短周期変動について

○江淵直人・深町康・大島慶一郎・若土正暁(北大低温研)

A10. 衛星搭載海面高度計に現れた津波発生の予兆－インドネシア島嶼海域の事例－

○菅野進(共和コンクリート工業)・古島靖夫(JMASTEC)

A11. プレート境界周辺域における地殻変動観測

○工藤麻梨那・岩下篤(九州東海大)・馬場久紀(東海大)・諸星敏一・磯幸江(防災科技研)
原政直(ビジョンテック)・林玉峰・江文卿(台湾大漢技術学院大)

A12. 海上流出油の油膜認識手法に関する研究

○八木浩・市塚正彦・原政直・山本浩道・重原好次(ビジョンテック)

A13. MODIS画像を用いた赤潮発生条件と赤潮抽出法

○青山隆司・松井佑介(福井工大)

15:30-17:50 **生態系モデル・観測** (*は15分発表)

座長 中田喜三郎(東海大)

A14. 汽水湖集水域における放射性核種移行モデルの開発

○植田真司・長谷川英尚・久松俊一(環境科技研)・沓掛洋志(いであ)・中田喜三郎(東海大)

A15*. 三河湾における貧酸素水塊形成過程に関する研究

○山本祐也・中田喜三郎(東海大)

A16*. 三河湾の環境修復には何が有効か？－沈降フラックスの考察－

○渡辺陸美・中田喜三郎(東海大)

A17*. Full3Dによる浅海底窪地付近の流動解析

○大野創介・中田喜三郎(東海大)

A18*. 浜名湖における流動・水質解析

○大野創介・中田喜三郎(東海大)

A19*. 佐鳴湖堆積物中の色素組成鉛直分布特性

○占部春佳・千賀康弘(東海大)

A20*. 折戸湾での2006年冬季低次生産の特徴

○小松千紜・R. K. Mishra・千賀康弘(東海大)

A21*. 伊勢湾への負荷量の削減効果に関するモデル解析

○野呂篤・中田喜三郎(東海大)

A22*. 全球規模の海洋における炭素循環解析

○茂木博匡・中田喜三郎(東海大)